



令和 5 年 9 月 2 1 日

国土交通省関東地方整備局

荒川調節池工事事務所

J R 川越線荒川橋りょう架け替えの概略設計結果を H P に掲載

～架け替えの概略位置や構造が確認できます～

荒川第二・三調節池の整備に伴う、J R 川越線荒川橋りょう架け替えの概略設計結果（位置、構造）を、荒川調節池工事事務所のホームページに掲載しました。

J R 川越線荒川橋りょうの架け替えに向けて、令和 4 年度に概略設計を実施後、設計内容の照査及び地元関係者への説明会等を行い、今般、概略設計結果として概略の位置と構造を荒川調節池工事事務所のホームページに掲載しました。

なお、橋りょうの詳細構造、仮設計画、工事工程、架け替えに伴う周辺整備及び説明会のご意見等については、今後の詳細設計等で検討していく予定です。

国土交通省関東地方整備局荒川調節池工事事務所では、埼玉県南部及び東京都区間の荒川流域を洪水から守るため、平成 30 年度より「荒川第二・三調節池」の整備を進めています。

本橋りょう周辺の堤防は、調節池に必要な高さや幅が不足していることから、本事業の中で、橋りょうの架け替えを行い、堤防を高くする計画としています。

近年激甚化・頻発化する豪雨災害を踏まえ、一日でも早く地域の安全・安心を確保するため、引き続き、「荒川第二・三調節池」の整備を推進してまいります。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、東京都庁記者クラブ、さいたま市政記者クラブ、さいたま市地方記者クラブ、川越新聞記者会

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 荒川調節池工事事務所

電話：048-767-6041（代表） メールアドレス：ktr-araike-keikaku@mlit.go.jp

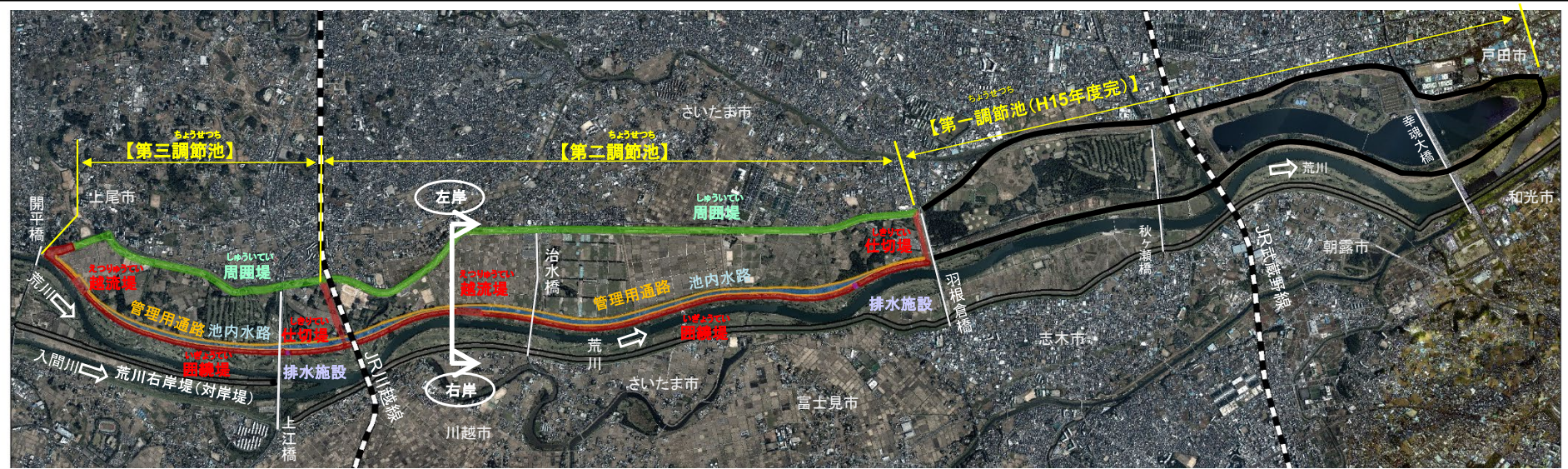
副所長（技術） 大須 栄一（おおす えいいち） （内線：204）

事業計画課長 松本 充弘（まつもと みつひろ） （内線：361）

①荒川第二・三調節池整備事業の概要について

埼玉県南部・東京都を洪水から守るため、広い河川敷を活用して、洪水時に川の水の一部をためこむ「荒川第二・三調節池」を整備しています。

計画平面図



注) 堤防、越流堤、排水施設などの位置や幅については検討中のものであり、確定しているものではありません。

事業の内容

○場 所

埼玉県さいたま市、川越市、上尾市

○全体事業費

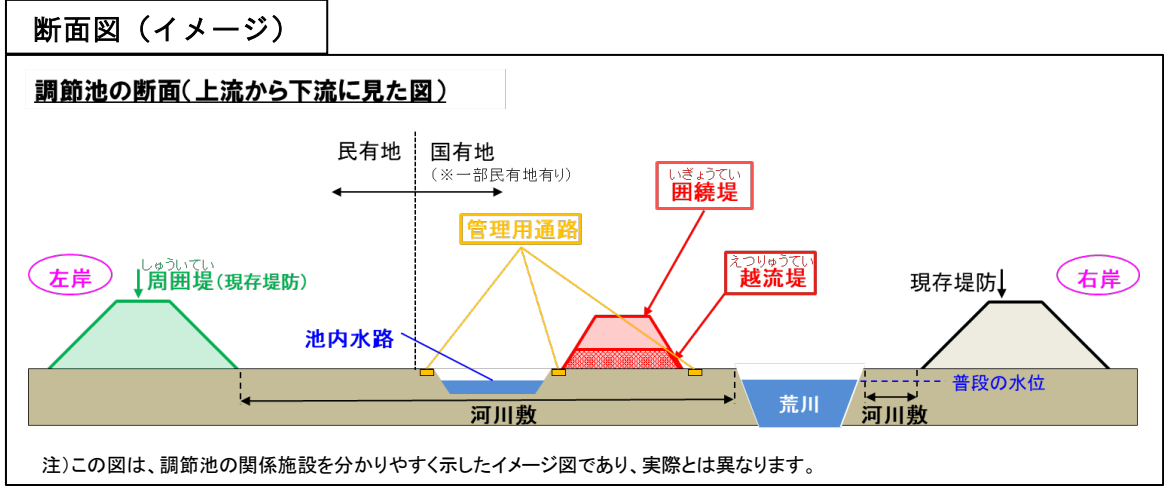
約1,670億円

○事業期間

平成30年度～令和12年度(13年間)

○事業内容

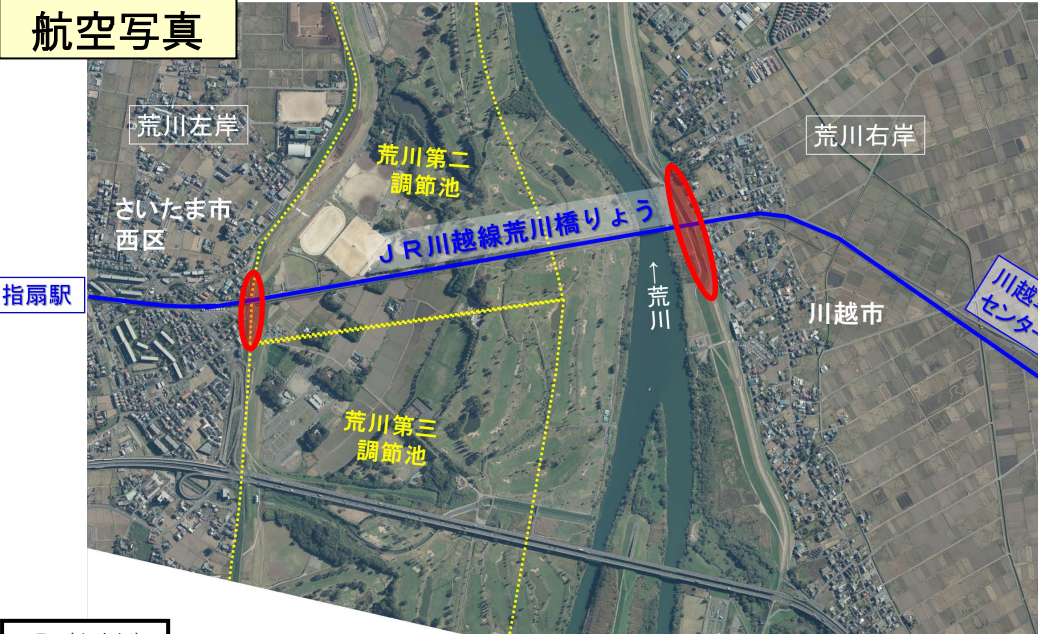
- ・荒川第二・三調節池の整備
面積 約760ha(第二:約460ha、第三約300ha)
洪水調節容量 約5,100万m³
(第二:約3,800万m³、第三:約1,300万m³)
- ・JR川越線荒川橋りょう架け替え
- ・荒川右岸堤(対岸堤)の整備



② J R川越線荒川橋りょうの架け替えについて

J R川越線荒川橋りょう周辺の堤防が低いことから、橋りょうを高い位置に架け替えて、必要な高さまで堤防の嵩上げを行います。

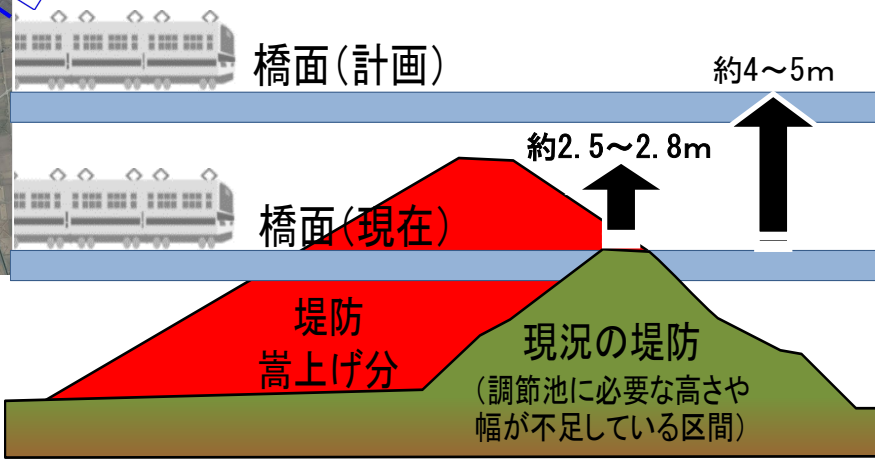
航空写真



架替・嵩上 位置

○橋りょうは、約4～5m高い位置に架け替える予定です。

○堤防は、約2.5～2.8m嵩上げします。



現況(左岸側)



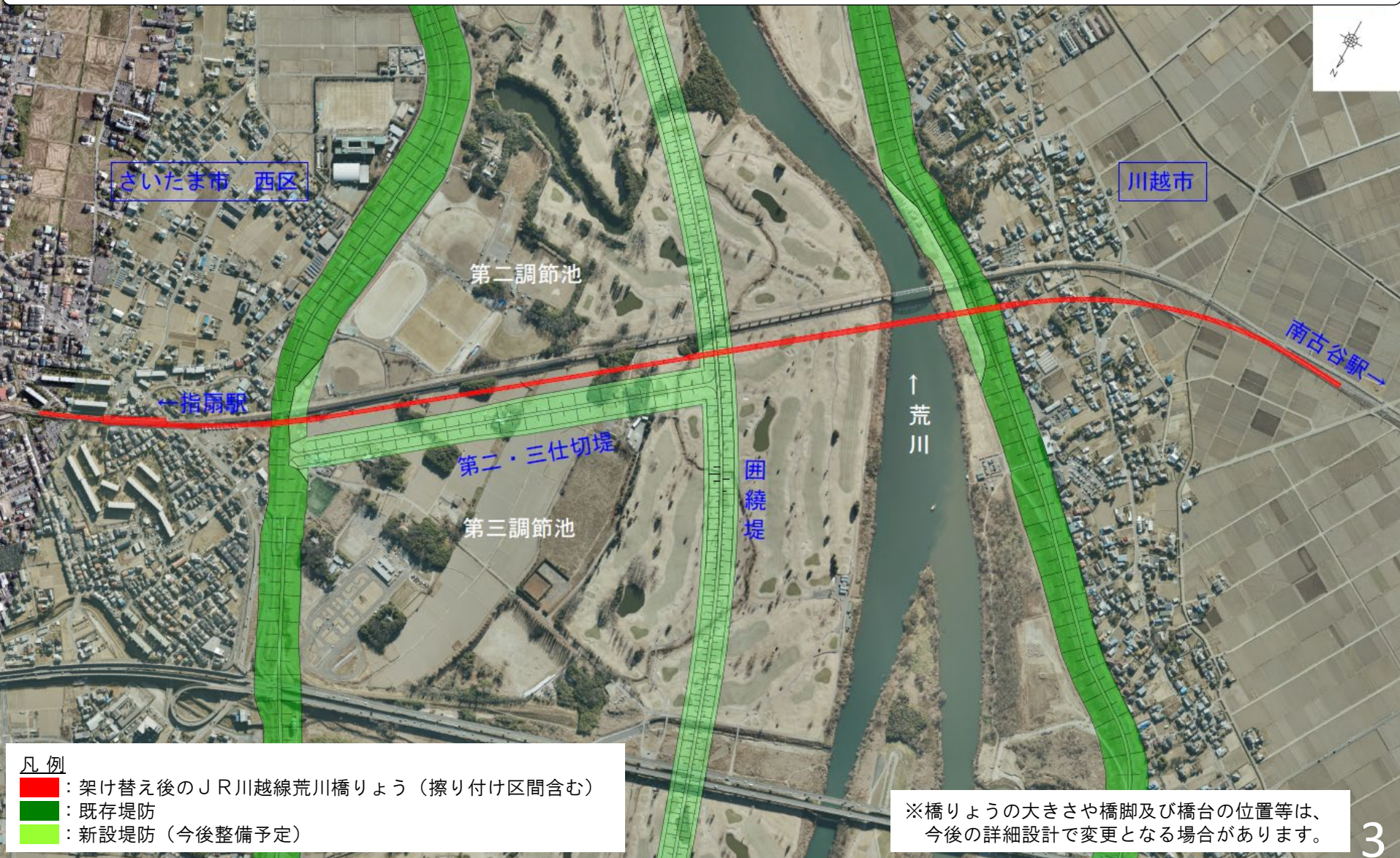
現況(右岸側)



※調節池事業の一環として実施する本工事については、現状の川越線の機能を補償するものであることから、単線での架け替えを予定しています。

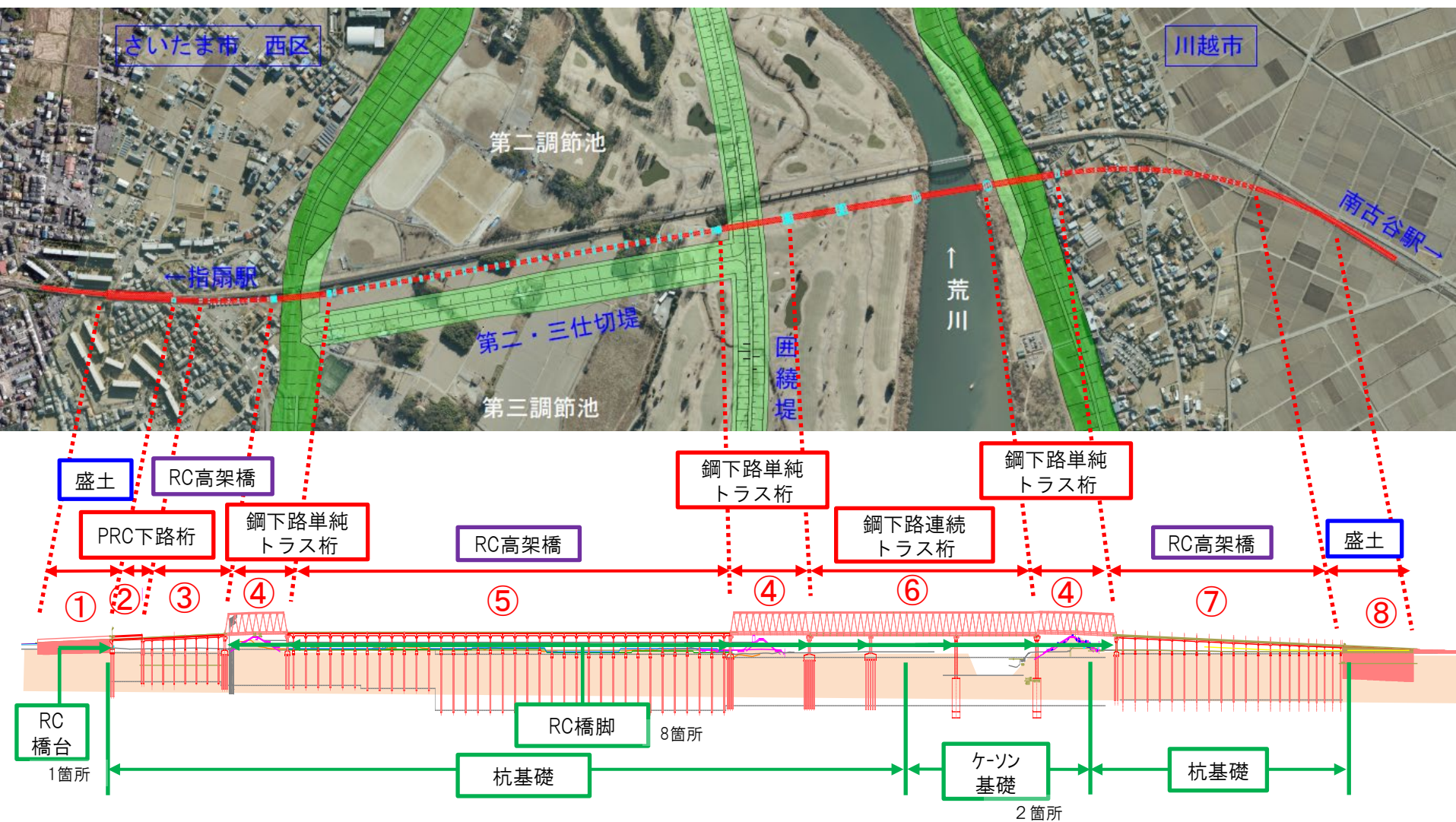
③ J R川越線荒川橋りょうの架け替え位置について

- 架け替え後のJ R川越線荒川橋りょうの概略位置は下図の通りです。
- 橋りょうの詳細構造、仮設計画、工事工程及び架け替えに伴う周辺整備（生活道路の付け替え等）等については、今後の詳細設計等で検討していく予定です。



④橋りょうの概略構造について

○架け替え後のＪＲ川越線荒川橋りょうの概略構造は下図の通りです。



平面図の凡例

- 架け替え後のＪＲ川越線荒川橋りょう（擦り付け区間含む）
- 橋脚・橋台の位置
- 既存堤防
- 新設堤防（今後整備予定）

※橋りょうの大きさや橋脚及び橋台の位置等は、今後の詳細設計で変更となる場合があります。



注意点

- ・この図はJR川越線荒川橋りょう架け替えの位置を示したものであり、道路や水路については含まれていません。
- ・橋りょうの大きさや橋脚及び橋台の位置等は、今後の詳細設計で変更となる場合があります。

